

「みんなで作るまち」を一步ずつ、進めます。

市民の皆さんと市長との対話の場

第26回

毎月開催

みんなのタウンミーティング

テーマ

～平和について～

2025年
2/22

今回はテーマを設定しての開催です。世界で紛争が続く中、今年
は戦後80年を迎えます。戦後世代がほとんどを占める中、平和につ
いてご自身が感じたことや、平和に関する取組みについてなど、思い
やご意見をいただければ幸いです。

ご参加ありがとう
ございます



事前申込制

いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪



本日の進行

- 1 開会あいさつ
- 2 小金井市における平和に関する取組について
- 3 意見交換
- 4 閉会あいさつ

2 小金井市における平和の取組等について

平和に関する宣言・条例等

1 小金井市非核平和都市宣言（昭和57年4月1日）

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、核軍備拡大競争は依然として続けられ、人類が平和のうちに生存する条件を根本からおびやかす段階に至っている。また、通常兵器の軍備拡大競争も一段と激化し、世界の各地で武力紛争や戦争が絶え間なく続き、限定核戦争の脅威がせまっている。

わが国は、世界の唯一の核被爆国として、また、平和憲法の花神からも、核兵器の全面廃絶と軍備縮小の推進に積極的な役割りを果たすべきである。

したがって、わが小金井市は、非核三原則の完全実施をねがいあらゆる国のあらゆる核兵器に反対し、その全面廃絶と軍備縮小を求め、あわせて国際連帯のもとに、核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに非核平和都市となることを宣言する。

小金井市議会

⇒日本非核宣言自治体協議会に加入



2 小金井市における平和の取組等について

平和に関する宣言・条例等

2 世界連邦平和都市宣言（昭和35年10月3日）

戦争放棄を憲法に明記した日本は、武力国家の対立を解消して平和の礎を築き人類の福祉に貢献すべきであるとの認識にたつて、わが小金井市は国際社会を一つの法のもとに力の支配から法の秩序に切り替えて地上に永遠の平和を招来せんとする世界連邦の趣旨に賛同し永久の平和都市たることを宣言し、志を同じくする他の宣言都市と相携え盛りあがる国民の総意により日本国宣言に到達せしめ世界連邦の実現を希求する。

右宣言する。

東京都小金井市議会

⇒世界連邦宣言自治体全国協議会に加入



平和の塔
(武蔵小金井駅北口ロータリー内)

2 小金井市における平和の取組等について

平和に関する宣言・条例等

3 小金井平和の日条例 (平成26年12月18日)

前文

小金井に爆弾が投下されたと記録される昭和19年11月24日、そして終戦を迎えた昭和20年8月15日から長い年月が経過し、戦争体験のある方から戦争の悲惨さが語り継がれる機会が少なくなり、戦争の記憶が風化することが懸念されます。

私たち小金井市民は、小金井市市民憲章の理念に基づき、平和を願い、戦争の悲惨さを深く知らされた昭和20年3月10日の東京大空襲を始めとする戦争の記憶を風化させることなく後世に伝え、そして命の尊さについて改めて考え、未来の子どもたちに平和を引き継いでいくため、ここに小金井平和の日を定めます。

(平和の日)

第1条 小金井平和の日は、3月10日とする。

(記念行事)

第2条 市は、小金井平和の日を中心として、平和意識の高揚を図るための記念行事を実施する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

2 小金井市における平和の取組等について

非核平和事業

小金井市非核平和都市宣言の趣旨を広く市民に周知するため、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願い、毎年夏の時期(8月)を中心に各種行事を実施しています。

1 非核平和映画会 (8月初旬)

戦争の悲惨さを再認識し、人間の命、そして平和の尊さについて深く認識していただくための作品を上映しています。

場所: 小金井 宮地楽器ホール小ホール

実施日	上映映画	参加者数
令和6年度	島守の塔	62人
令和5年度	太陽の子	79人
令和4年度(※)	この世界の片隅に	43人
令和3年度(※)	硫黄島からの手紙	38人

これまで、「はだしのゲン」「火垂るの墓」なども上映

(※)感染症対策のため定員が半分となっていた

令和6年度上映作品



激の暴風と言われた激しい空襲。戦艦撃墜、上陸隊の砲撃に追い込まれた中津島。その中で「生きろ!」と後方に一筋の命を託した2人の空母と沖縄の人々の物語を映画化。

我輩聖人 村上 博

吉栗隆執 清原夏菜 / 榎本孝明 / 成田 瑠 永橋 二 / 藤川京子

2 小金井市における平和の取組等について

非核平和事業

2 平和行事参加の旅

8月5日～6日の1泊2日で、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に市民を派遣しています。

<訪問箇所>

原爆ドーム・慰霊碑・資料館見学、式典出席など

<参加費用>

交通費・宿泊費の約1/2を補助

実施日	参加者数
令和6年度	中止 (最少催行人数に満たず)
令和5年度	7人(うち子ども1人)
令和2年度～ 令和4年度	中止 (新型コロナウイルス感染症拡大による)
令和元年度	6人



令和5年度の様子

2 小金井市における平和の取組等について

非核平和事業

3 原爆写真パネル展 (7月中旬～8月中旬)

市内3か所(小金井 宮地楽器ホール、市役所 第2庁舎正面玄関、公民館緑分館)にて原爆写真パネルを展示をしています。

実施日	参加者数(延べ)
令和6年度	498人
令和5年度	383人
令和4年度	481人
令和3年度	434人

※小金井 宮地楽器ホールにおける人数



小金井 宮地楽器ホール



公民館緑分館

2 小金井市における平和の取組等について

非核平和事業

4 その他の取組み

◆横断幕の掲出 (7月中旬～8月中旬)

非核平和の横断幕を市内4か所(市役所本庁舎屋上、本町暫定庁舎、東児童館、総合体育館)に掲出しています。



◆黙とうの呼びかけ

(8月6日、8月9日、8月15日)

原爆死没者の慰霊と世界の恒久平和を祈念して1分間の黙とうの協力を市報、ホームページ等で呼びかけ、平和を祈念しています。

◆平和図書の展示

図書館において、平和をテーマにした図書の展示を行い、青少年への啓発を行っています。

2 小金井市における平和の取組等について

小金井平和の日記念行事

戦争の記憶を風化させることなく後世に伝え、命の尊さについて改めて考え、未来の子どもたちに平和を引き継いでいくため、「小金井平和の日条例」を制定し、3月10日を「小金井平和の日」と定め、毎年この日を中心に、平和意識の高揚を図るための記念行事を開催しています。

場所:小金井 宮地楽器ホール小ホール

1 平和作文コンクール表彰・朗読

◆小中学生を対象に募集(7月頃)

<テーマ>

「平和や戦争に関するもので、平和を未来に引き継いでいくために、命の尊さや平和の大切さについて改めて考える機会となるようなもの」

◆大賞:小学校・中学校 各1名

優秀賞:小学校・中学校 各1名 を表彰しています



令和5年度の様子

2 「平和行事参加の旅」発表会

◆参加者の方からの平和行事参加の旅の感想文の朗読

令和5年度
小金井平和の日記念行事

「平和作文集」

小金井市

2 小金井市における平和の取組等について

小金井平和の日記念行事

3 戦争体験者による体験談

◆小金井市戦争体験者登録制度登録者を中心に体験談をお願いしています。

※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、令和元年度～令和5年度まで中止している。

※平成28年度:2人、平成29年度:1人、平成30年度:1人の方に体験談をお話しいただきました。

4 被爆伝承者等による講話

実施日	講和内容
令和5年度	「遺骨収集と平和への祈念」 東京都遺族連合会副会長による講話
令和元年度～ 令和4年度	中止 (新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による)
平成30年度	「ナガサキを伝える～祖父・松尾あつゆきの日記より」 被爆体験伝承者による講話
平成29年度	「山脇佳朗さんの被爆体験を語り継ぐ」 被爆体験伝承者による講話

小金井市戦争体験者登録－戦争体験者を募集しています－

更新日：2017年8月9日

戦争体験者が高齢となり、戦争の悲惨さを語り継ぐことが難しくなっていることに鑑み、戦争の記憶を風化させないため、戦争体験者の方に戦争体験の語り部としてご登録いただき、その人材の把握に務めることとしました。ご登録いただいた方には、小金井平和の日記念行事を始め、市の平和推進事業において、講演等を行っていただくなど平和事業の推進にご協力いただきます。

対象

- ・戦争体験のある市民
- ・戦争の悲惨さや、平和の尊さを後世に伝える意欲のある者
- ・営利、政治活動又は宗教活動を目的としない者



令和5年度の様子

2 小金井市における平和の取組等について

小金井平和の日記念行事

5 平和音楽会

平和の尊さを再認識していただくため、小金井市観光大使のEverly(エバリー)さんに素晴らしい演奏を披露していただいています。



平和音楽会の様子

<小金井平和の日記念行事実施状況>

実施年度	参加者数
令和5年度	99人
令和4年度	78人
令和3年度(※)	47人

(※)感染症対策のため定員が半分となっていた



Everly (エバリー) さん

2 小金井市における平和の取組等について

他団体との連携、その他の取組など



1 平和首長会議との連携

＜平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワークに加入＞

多摩26市では、「平和文化の振興」に向けた取り組みを、市民一人一人が日常の中で平和を考え行動する意識を根付かせるために、東京都多摩地域において自治体間のネットワークを形成し、自治体間で相互に情報共有・情報交換を通じて、多摩地域全体で平和文化の振興の向上を図ることを目的としています。



平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク
平和宣言

私たち平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワークは、平和首長会議の「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」の中で掲げている「平和文化の振興」に向けて東京都多摩地域共同で取り組むことを宣言します。

- 一、市民一人一人が平和を願い、日常生活の中で自分ができることを考え行動する「平和文化」を東京都多摩地域に根付かせ、市民社会における平和意識を醸成していきます。
- 一、戦禍や被爆の実相を共有・継承し、「平和文化」の担い手を育成していきます。
- 一、世界中に平和文化を根付かせ、世界恒久平和を実現するために、東京都多摩地域の自治体が連携して「平和文化の振興」に取り組み、その取り組みを国内外へ発信していきます。

八王子市長 石森 孝志	国分寺市長 井澤 邦夫
立川市長 酒井 大文	国立市長 永見 理夫
武蔵野市長 小美濃 安弘	福生市長 加藤 育男
三鷹市長 河村 孝	狛江市長 松原 俊雄
西武池袋線市長 大野 律雄	東大和市長 和田 仁美
府中市長 高野 律雄	清瀬市長 澁谷 桂司
昭島市長 白井 伸介	東久留米市長 富田 竜馬
調布市長 長友 貴樹	武蔵村山市長 山崎 泰大
町田市長 石坂 文一	多摩市長 阿部 裕行
小金井市長 白井 亨	稲城市長 高橋 浩
小平市長 小林 洋子	羽村市長 橋本 弘山
日野市長 大坪 冬彦	あきる野市長 中嶋 博幸
奥村山市長 渡部 尚	西東京市長 池澤 隆史

2024年1月25日

- ◆戦後80年事業として（仮称）平和サミットなどの取組みを予定
- ◆各市の平和事業を各市のホームページ等で相互に紹介し連携

2 小金井市における平和の取組等について

他団体との連携、その他の取組など

2 こがねいデジタル平和資料館（令和6年度提案型協働事業）

市民との協働事業により、「小金井平和の日」制定10周年を記念し、戦争体験者の証言や手記と市内の戦争遺産などを記録した「こがねいデジタル資料館」をホームページ上に開館いたします。（令和7年3月公開予定）



こがねいデジタル
平和資料館ロゴ

トップページのイメージ

2 小金井市における平和の取組等について

他団体との連携、その他の取組など

3 戦没者追悼式の実施

小金井市遺族会主催により、戦没者の慰霊及び恒久平和の実現を祈念する式典を実施しています。(3年に1度)



慰霊碑

(市役所本庁舎敷地内)

4 アオギリの植樹

平和首長会議では、核兵器廃絶を目指す取組の1つとして、加盟自治体の希望に応じて被爆アオギリの苗木の配布を行っており、本市では平成28年度に植樹を行いました。



アオギリ

(武蔵小金井駅北口ロータリー付近に植樹)

2 小金井市における平和の取組等について

平和事業における課題

1 次世代(特に子どもたち)へ継承していくこと

- ◆ 戦争の体験談などを通して戦争の現実や、悲惨さを子どもたちに伝えていくことは、本市に限らず、これからの日本にとって大きな課題である。
- ◆ いかに工夫して、平和に関する各種行事を周知し、市民の方々、特に多くの子どもたちに参加いただき、直接、見て、感じて、考える機会を数多く設けていくことがとても大切である。

2 戦争経験者の体験談を残していくこと

- ◆ 実際の体験を伝えていくという点で、戦争を語り継ぐ世代が高齢化等により減っており、戦争の悲惨さを語り継いでいくことが極めて困難な状況となっている。
- ◆ そのような体験談をどのように記録に残していくかは喫緊の課題である。

2 小金井市における平和の取組等について

<お知らせ>

平和推進事業

小金井平和の日 記念行事

3/8(土)



戦争の記憶を風化させることなく後世に伝え、未来の子どもたちに平和を引き継いでいくため、3月10日を「小金井平和の日」と定めています。これを記念し、平和意識の高揚を図るための記念行事を開催します。

時 3月8日(土)午後2時～3時45分（1時40分受付開始）

所 小金井 宮地楽器ホール小ホール

内 作文コンクールの表彰および朗読、平和の日記念講話、市観光大使のEverly（エバリー）による平和音楽会

定 150人（申込順）

他▷保育有り（1歳以上の未就学児。6人。要事前申込）▷手話通訳有り▷当日空きがある場合は、当日参加も受け付けます

申 2月17日～3月6日に、市申込フォーム、電話または直接、広報秘書課広聴係（市役所第二庁舎1階☎042-387-9818）へ



Everly(エバリー)

令和6年度提案型協働事業

こがねいデジタル平和資料館 完成試写会

3/15(土)

協働事業として、「小金井平和の日」制定10周年を記念し、戦争体験者の証言や手記と市内の戦争遺産などを記録した「こがねいデジタル平和資料館」が完成し、ホームページ上に公開されます。

本試写会では、資料館のデジタル映像を見ながら、未来の子どもたちにどのように平和を引き継いでいくのかを考えます。

時 3月15日(土)午後2時～4時30分（開場1時45分）

所 小金井 宮地楽器ホール小ホール

内▷第一部＝資料館のデジタル映像試写と戦争体験者のお話

▷第二部＝小藺崇明さん（東京大空襲・戦災資料センター学芸員）による講演「戦争体験を若い世代に伝えていくために」

定 100人（当日先着順）

申 本試写会に関すること＝小金井平和の日・市民イベント実行委員会・内田（☎090-3813-7739）、市平和事業に関すること＝広報秘書課広聴係（☎042-387-9818）



こがねいデジタル
平和資料館ロゴ

3 意見交換等

以下のような視点を参考に意見交換ができればと思います。

- ◆小金井市の平和の取組へのご意見・ご提案について
- ◆平和における課題について
次世代への継承、戦争体験談の記録などについて
- ◆「皆さんにとっての平和」について
平和への思い、自分が平和のためにできることなどについて